

小田原保健医療学部 第一回同窓会



平成 27 年 2 月 15 日(日)小田原キャンパスにて記念すべき第一回同窓会を開催しました。同窓会幹事代表の多田英生さん(P T1 期生)が今回の総合幹事となり、今年の 7 月から開催準備を進めてきました。

本学大学院青山キャンパス教授 医療福祉ジャーナリズム分野責任者の大熊由紀子先生の記念講演「日本の医療の困った忘れ物」～小田原で学んだみなさまの出番です～ では、北欧の医療福祉の様子を交えながら、どんなに障害や病気が重くても、年をとっても、死が間近に迫っていても、ひとが保障される権利と尊重される「自己決定と尊厳」について具体的に語ってくださり、福祉と医療・現場と政策をつなぐことの大切さについてご講演をいただきました。

学科に分かれての分科会では、看護学科は「それぞれの臨床の現場から…世代を超えて」、理学療法学科は「今の自分と昔の自分」、作業療法学科は元小田原保健医療学部准教授であり現広島国際大学教授の山路博文先生を講師として「職場でのコーピングスキル」の講演など、それぞれ学科色たっぷりのテーマを設けた会となりました。



その後、会場を小田原報徳会館に移しての懇親会では、部活動と一緒に活動した先輩・後輩、お世話になった先生方、大学祭やスポーツ大会で共に汗を流した同期の仲間たちと、時間がたつのを惜しみながら思い出を語り合いました。



医療職を目指す大学生として共に過ごした仲間が、今度は同じ医療専門職の仲間としての繋がりを深めることができた非常に有意義な一日となりました。懇親会の最後には、同窓生から開催に尽力した同窓会幹事に「お疲れ様でした！」の大きな拍手が送られました。

幹事は、多忙な中、全く初めての同窓会の計画を立て、やり遂げた達成感・無事に終わった安堵感と満足感で胸がいっぱいの様子でした。

記念講演会 103 名、分科会 120 名、懇親会 183 名の参加者があり、平成 25 年度までの総卒業生数 752 名の小田原キャンパスとしては、高い参加率で盛会のうちに幕を閉じた第一回同窓会でした。

「国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 同窓生」としての繋がりが、これからも広がり続けることを願っています。

